

(様式1)

平成23年度 荒川区立大門小学校 「学力向上マニフェスト」成果と課題

本年度の指導の重点	努力目標・成果目標	予算執行	成果と課題、改善策
1 教員の授業力向上プロジェクト	○ 各教科で言語活動を推進する。 ○ 算数科の授業研究を通して、児童自らが問題解決に取り組む学習への授業改善と、そのための指導力の向上に取り組む。	予算230,000円 決算230,000円 ・ 校内研修講師報償費 230,000円	【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none">・ 国語科で習得した言語活用能力をもとに、各教科の授業において、話形等を掲示し言語活動指導を行った。道徳教育や人権教育とも関連づけて取り組み、言葉遣いを意識して児童が生活できるようになってきた。・ 全学年で算数科の問題解決型学習を実施した。全校で授業の進め方を統一し、児童自らが考え、問題を解決していく授業を実施した。・ 問題解決型学習への授業改善を行うための教員研修を年間通して実施した。算数教材の6年間の系統性と、教材の本質について理解を深めた。また各学年の発達段階を踏まえた学習の進め方について研究した。・ 児童自らが問題解決することを進める一方で、必要な技能を習得できるようにしていくことが、児童の意欲の面でも時間的な面でも課題となっている。 【改善策】 <ul style="list-style-type: none">・ 各教科で問題解決型学習の授業改善ができるように、校内研究を充実させる。・ 「学び合い」の学習を通して、ともに学力の向上を図る。・ 放課後の補習と家庭学習を全学年で実施する。

<p>2 確かな学力の向上、定着</p>	<p>○ 学習環境の整備をする。(算数教材教具の充実)</p> <p>○ 習熟度別ドリル学習とともに、応用・発展問題に挑戦する時間を確保する。</p>	<p>予算 492, 300円 決算 498, 729円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数教具 357, 609円 ・算数図書 67, 620円 ・データベース 73, 500円 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数科の教材教具を充実したことで、一人一人が算数的活動を十分に体験することが可能となり、その体験を生かして問題解決をすることができるようになった。 ・習熟度別ドリルデータベースの導入により、個に応じたドリル学習を十分に行えるようになり、その結果児童も意欲的に取り組めるようになった。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のつまずきを分析して、学力の向上につなげるようにする。
<p>3 家庭と連携した学習習慣の定着</p>	<p>○ 学習規律と学習習慣の確立を図る。</p> <p>○ 各種検定への取り組みを推進する。</p>	<p>予算：77, 700円</p> <p>決算 69, 226円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立体地図 33, 600円 ・土器 35, 626円 	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに家庭での学習時間を決めて、一人で机に向かう習慣をつけるよう家庭と連携して取り組んできた。宿題や音読をする児童が多くなってきた。 ・日本語検定・漢字検定・算数検定にチャレンジすることで、学習により意欲をもつことができた。多くの児童に参加してもらえる工夫をする。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習のノートを活用した取り組みを全学年で実施し、基礎学習の定着を図り、学力の向上を図るようにする。